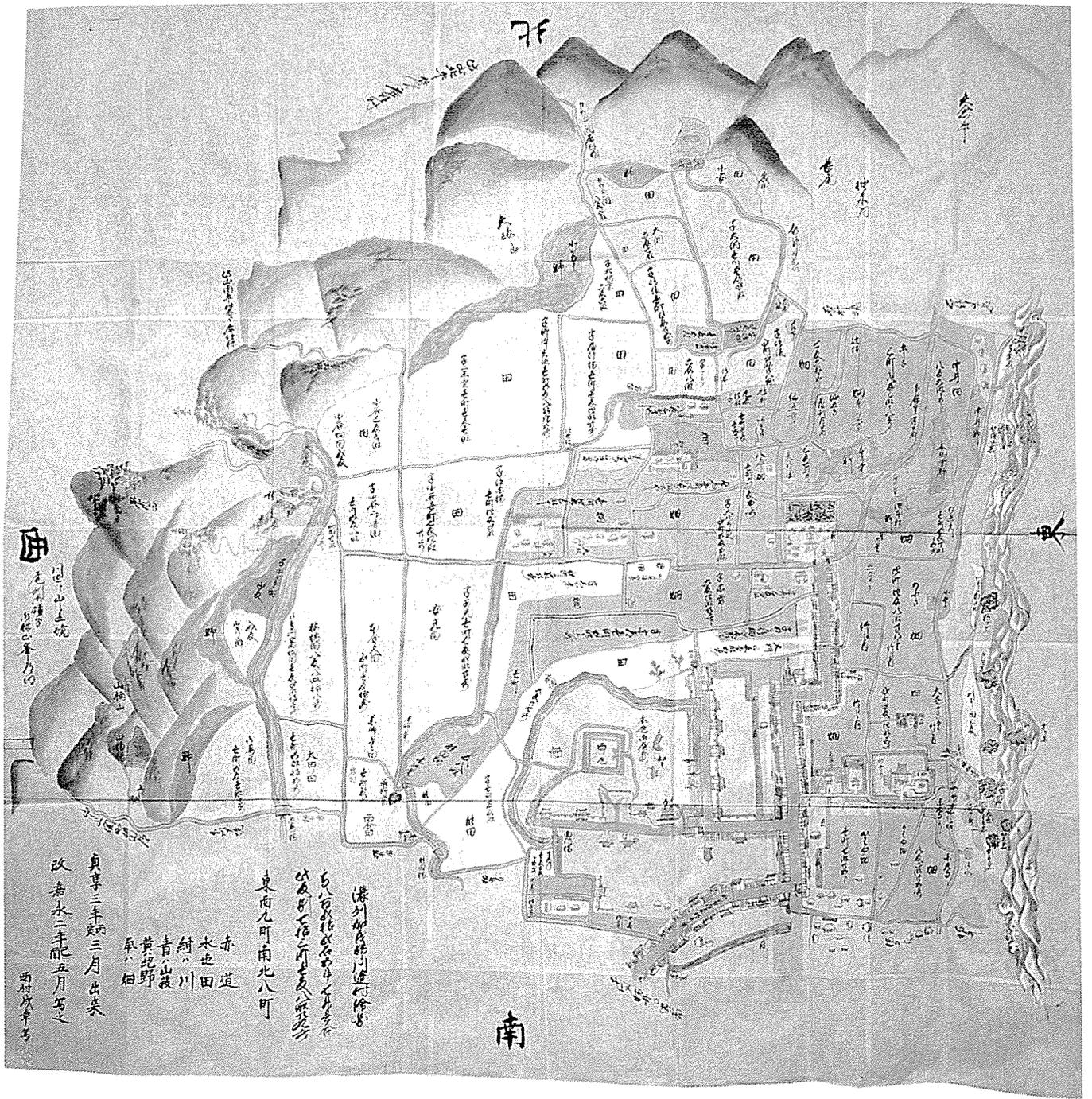


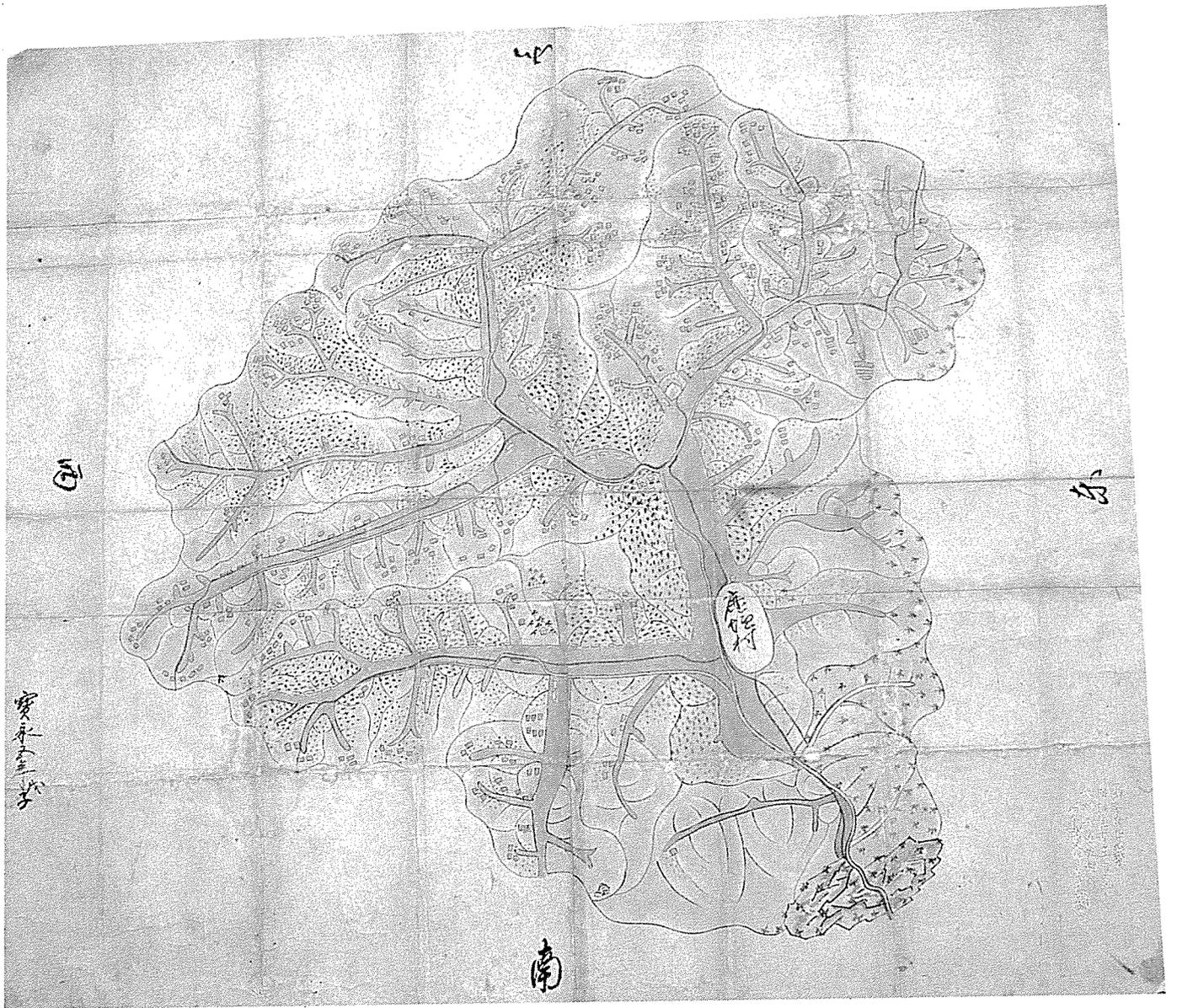
川邊河史

史料編

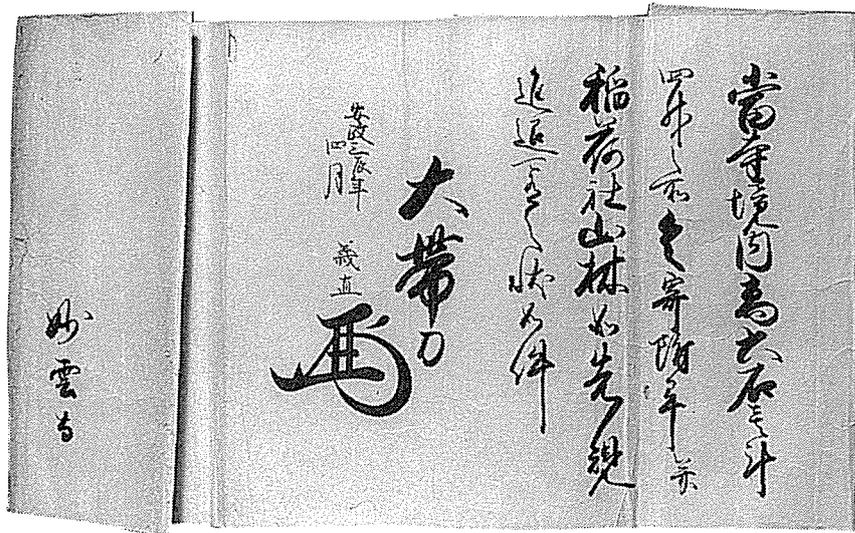
下卷



図版1 川辺村絵図（貞享3年）川辺町所蔵



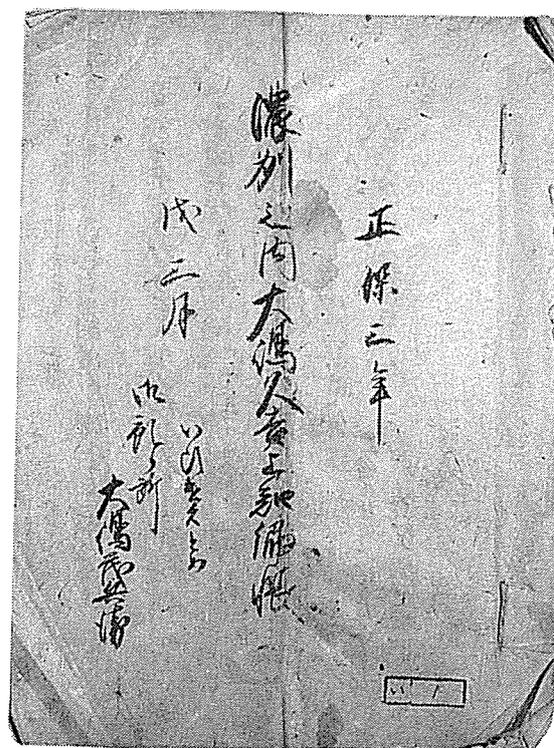
図版 2 鹿塩村絵図 (宝永 5 年) 鹿塩区所蔵



図版 3 妙雲寺寄進状（安政 3 年）

中川辺 矢嶋弓男氏所蔵

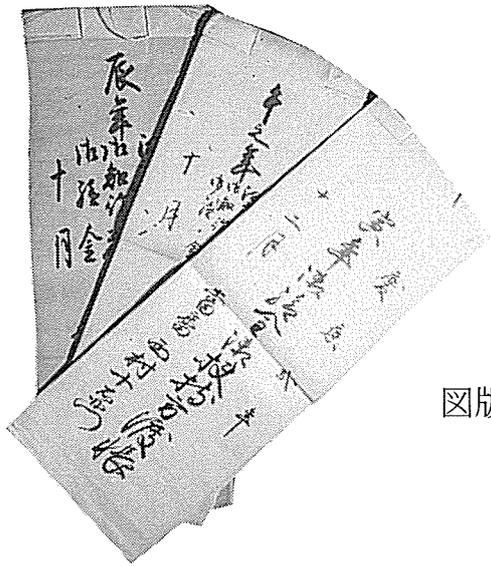
本文19頁参照



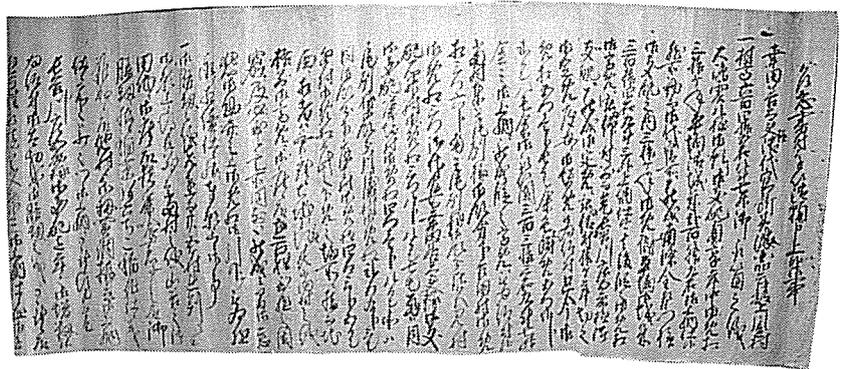
図版 4 大嶋氏知行所郷帳（正保 3 年）

川辺町所蔵（西村家文書）

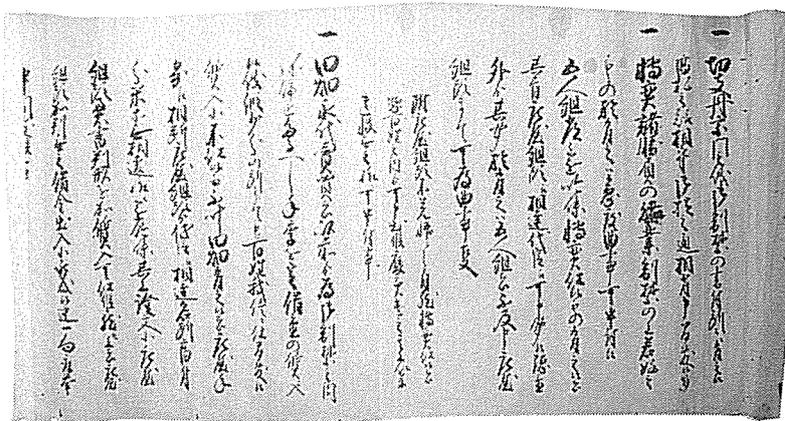
本文45頁参照



図版 5 大嶋氏扶持米給金渡帳（慶応2年）  
川辺町所蔵（西村家文書）  
本文104頁参照

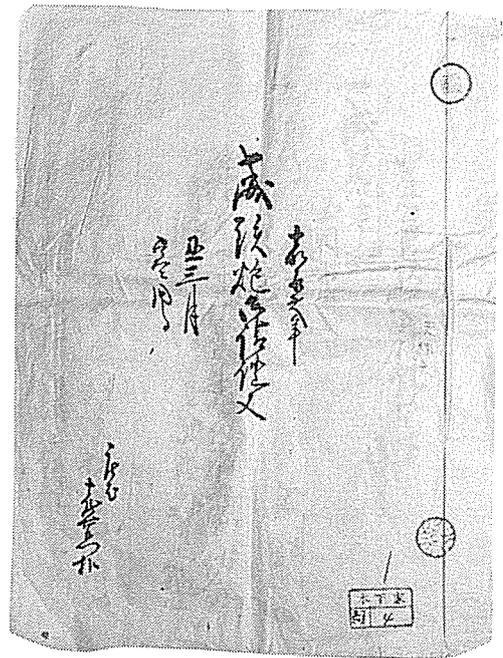


図版 6 巡見使願書（延享3年）  
上川辺区所蔵  
本文113頁参照

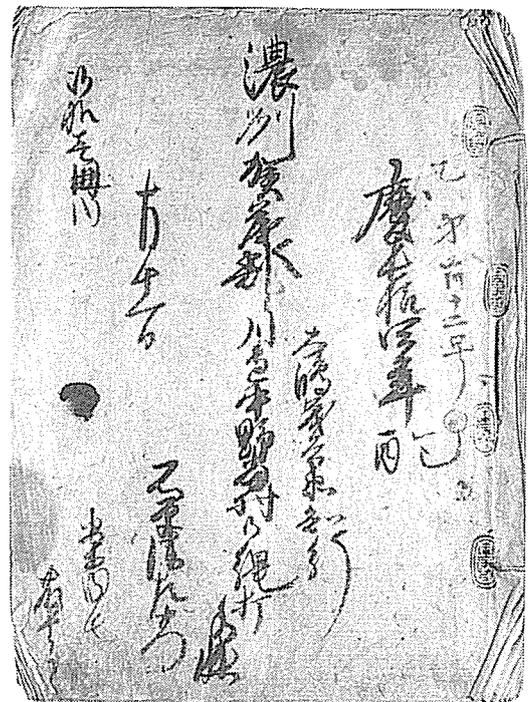


図版 7 触書（文化4年）  
川辺町所蔵（西村家文書）  
本文186頁参照

図版 8 威鉄砲請証文 (嘉永 6 年)  
 下川辺 木下喜作氏所蔵  
 本文211頁参照



図版 9 大嶋氏財政記録 (天保 3 年)  
 川辺町所蔵 (西村家文書)  
 本文233頁参照

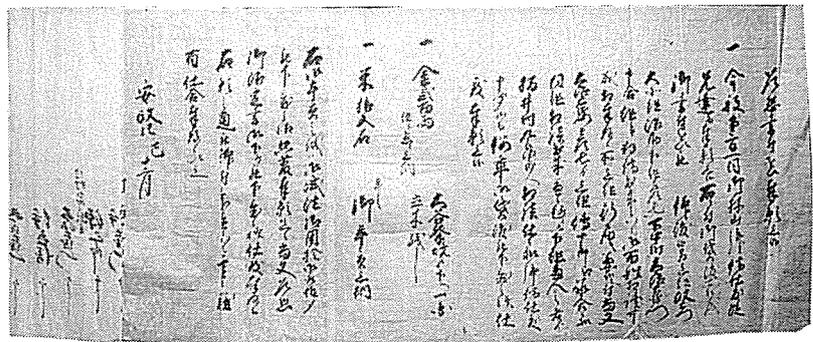


図版10 中野番村 (石神地区) 縄打水帳 (慶長14年)  
 石神区所蔵  
 本文307頁参照



図版11 鹿塩村見取場検地帳（明和4年）

鹿塩区所蔵  
本文353頁参照



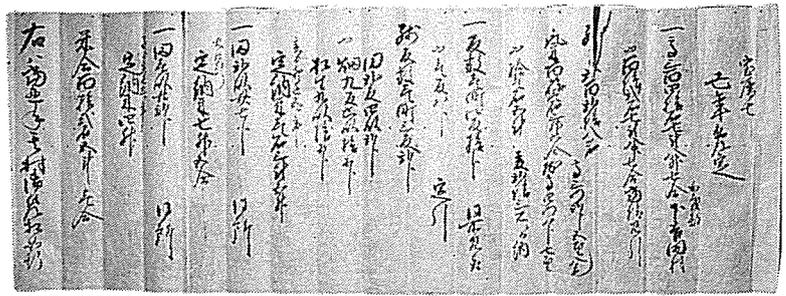
図版12 山林拝借並年貢免除願（安政4年）

川辺西小学校所蔵  
本文378頁参照

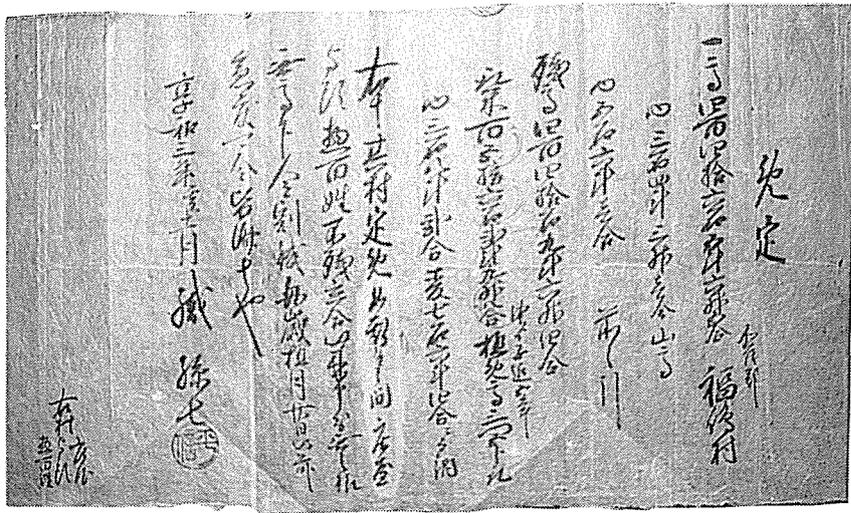


図版13 御成箇米代金勘定帳（天保15年）

川辺町所蔵（西村家文書）  
本文391頁参照



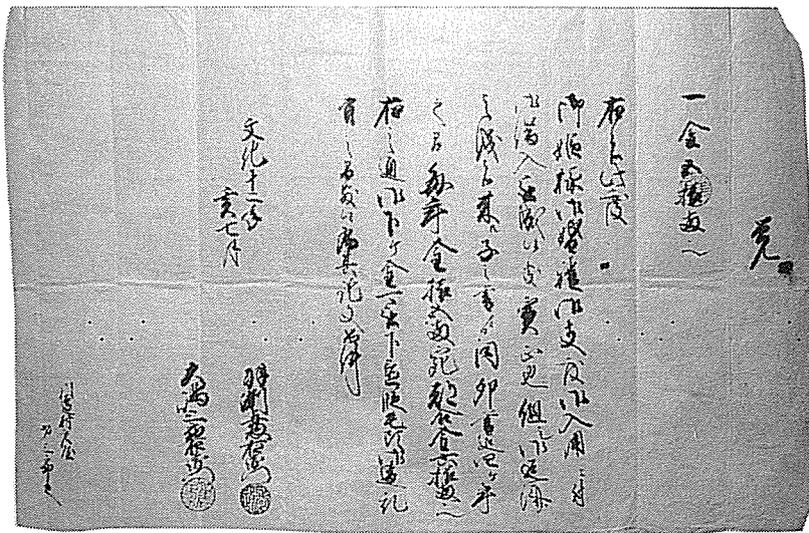
図版14 年貢免状（宝暦7年）  
川辺町所蔵（上米田支所）  
本文417頁参照



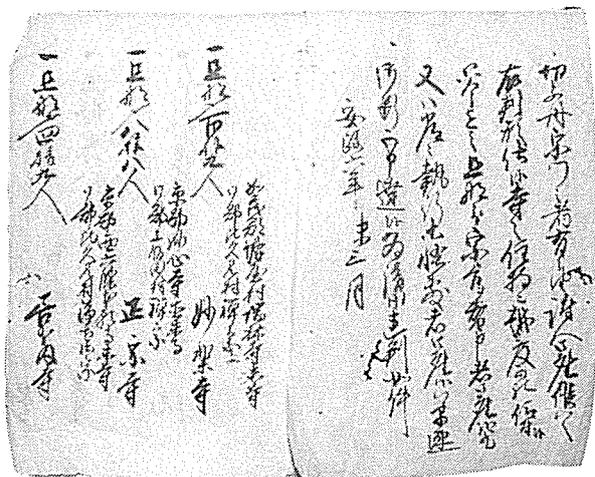
図版15 年貢免状（享和3年）  
福島区所蔵  
本文431頁参照



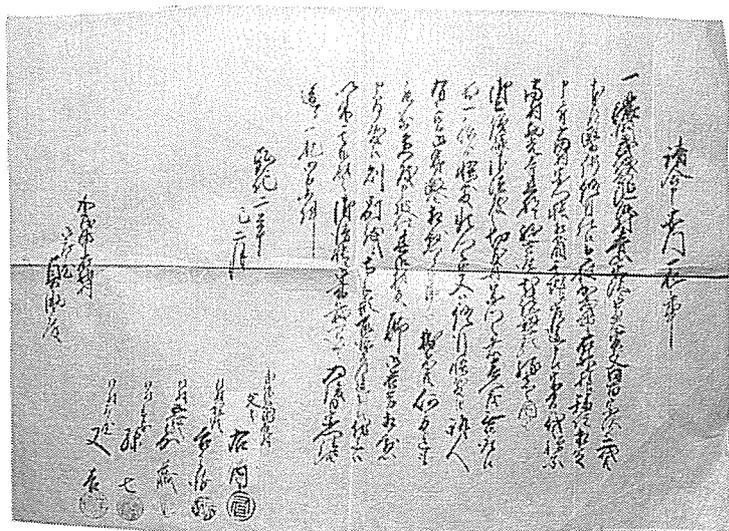
図版16 年貢皆済目録（天保5年）  
石神区所蔵  
本文463頁参照



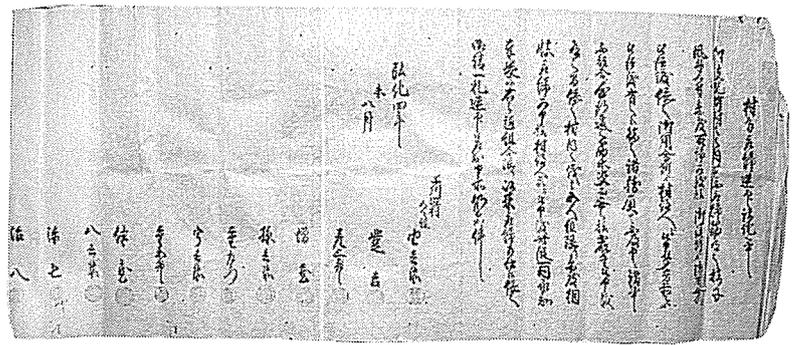
図版17 大嶋氏入用金覚書 (文化12年)  
川辺町所蔵 (西村家文書)  
本文473頁参照



図版18 宗門改一札 (安政6年)  
福島区所蔵  
本文496頁参照

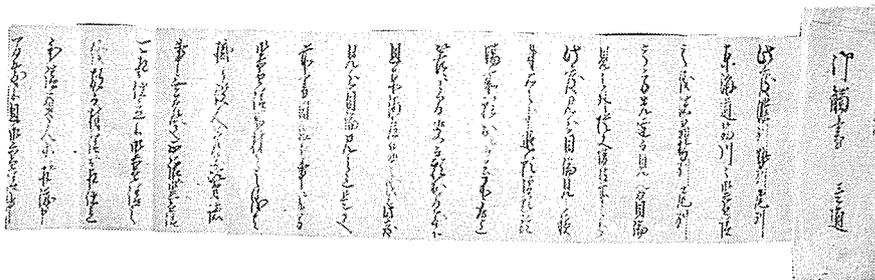


図版19 宗門送り一札 (弘化2年)  
石神区所蔵  
本文514頁参照



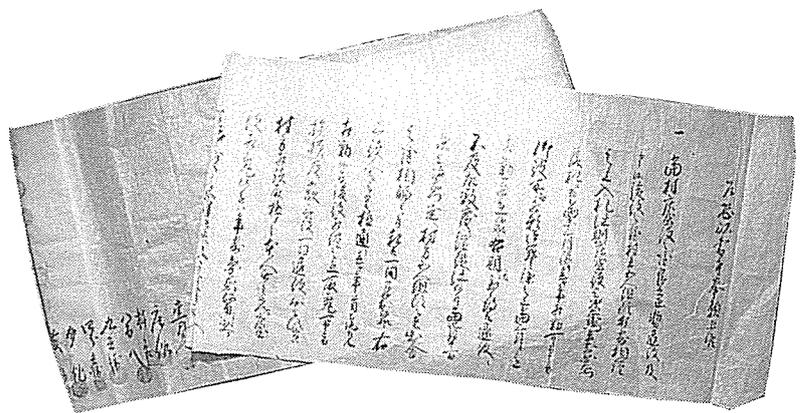
図版20 村方取締請証文（弘化4年）

上川辺区所蔵  
本文532頁参照



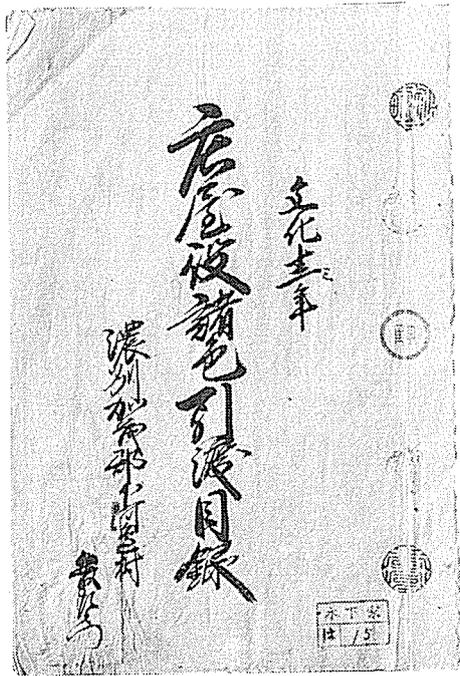
図版21 川普請触書（年号不詳）

中川辺 矢嶋弓男氏所蔵  
本文580頁参照



図版22 村役人訴訟願書（文化10年）

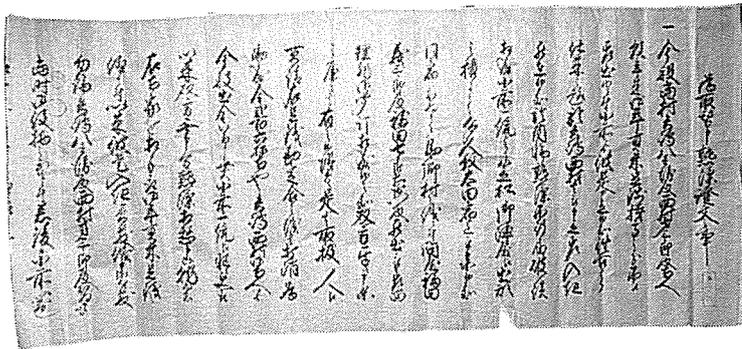
中川辺 木下尚年氏所蔵  
本文587頁参照



図版23 庄屋役引渡目録（文化13年）

下川辺 木下喜作氏所蔵

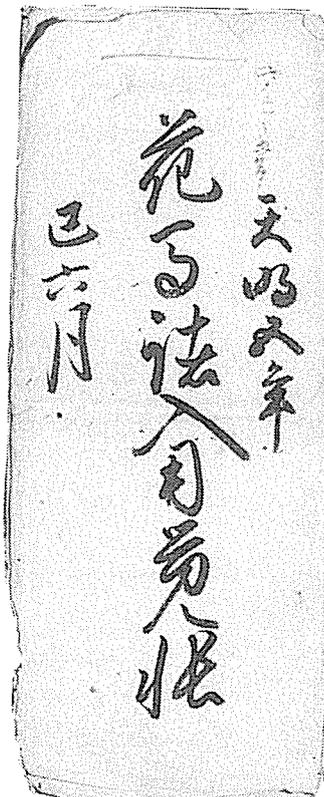
本文589頁参照



図版24 年貢米支払一札（安政5年）

中川辺 矢嶋弓男氏所蔵

本文621頁参照

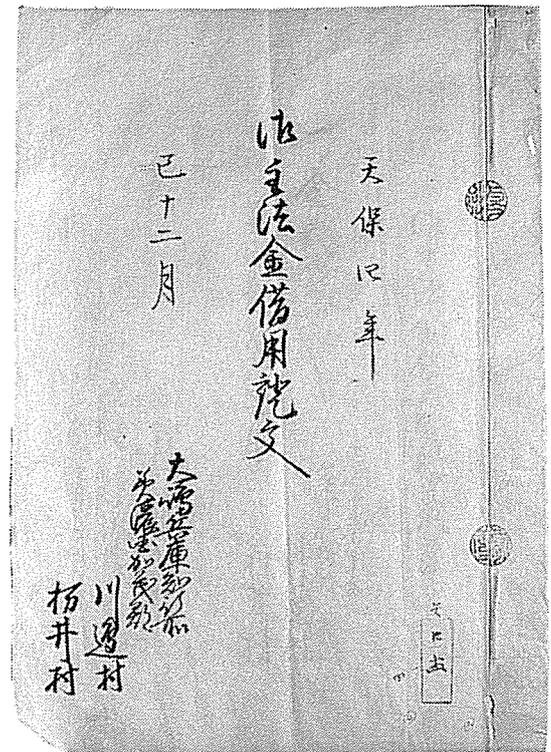


図版25 花馬諸入用帳（天明5年）

福島区所蔵

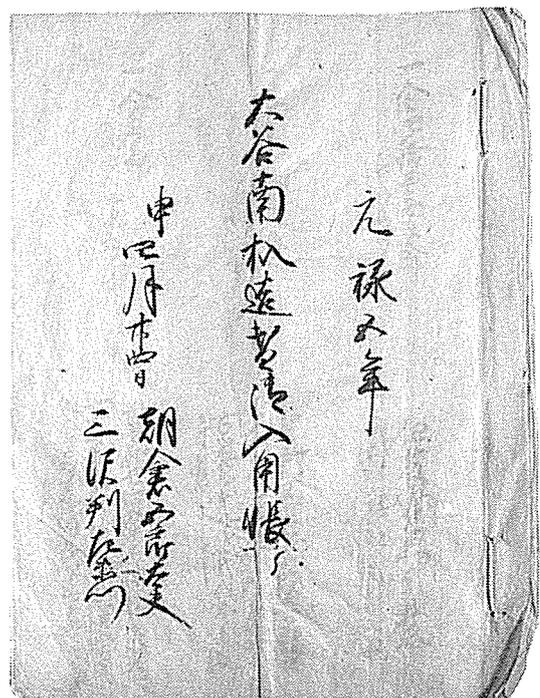
本文640頁参照

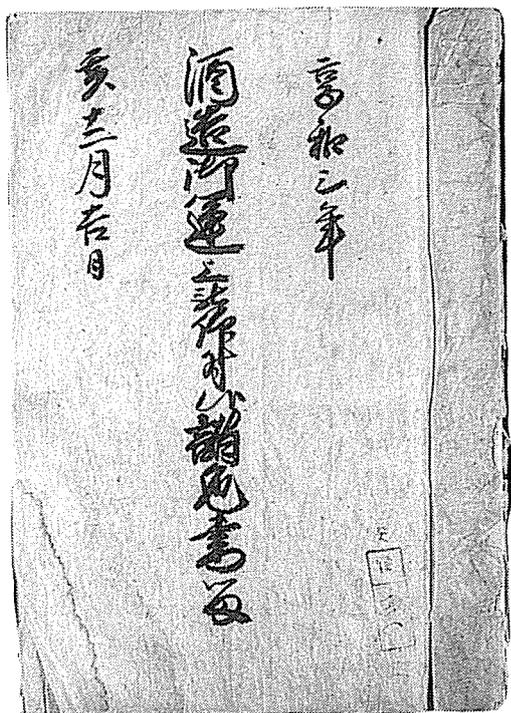
図版26 借用金証文（天保4年）  
 中川辺 矢嶋弓男氏所蔵  
 本文659頁参照



図版27 村方諸入用帳（天保8年）  
 川辺西小学校所蔵  
 本文662頁参照

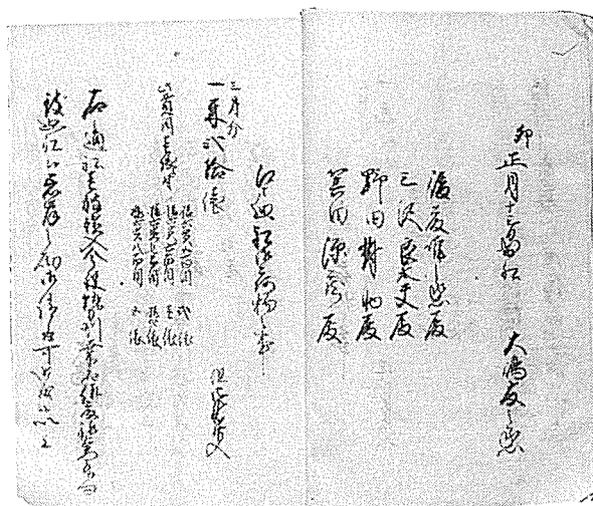
図版28 大谷溜池改修工事（元禄5年）  
 川辺町所蔵（西村家文書）  
 本文697頁参照





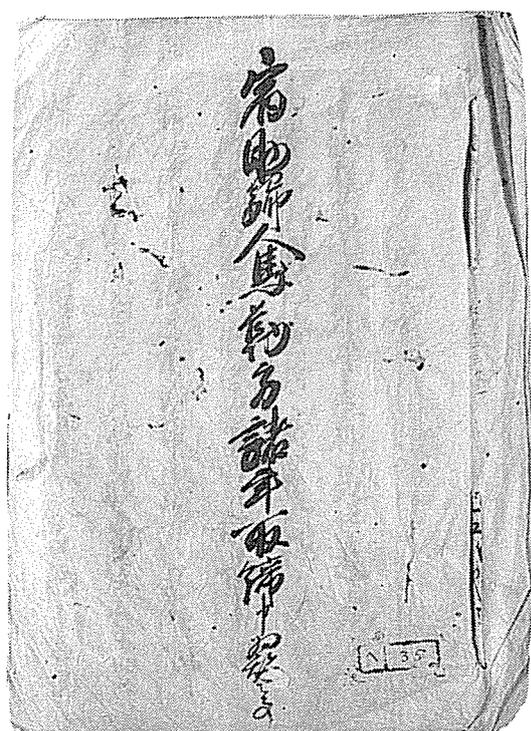
図版29 酒造米運上留書（享和3年）

中川辺 矢嶋弓男氏所蔵  
本文735頁参照



図版30 江戸回船荷物目録（文政14年）

中川辺 矢嶋弓男氏所蔵  
本文758頁参照

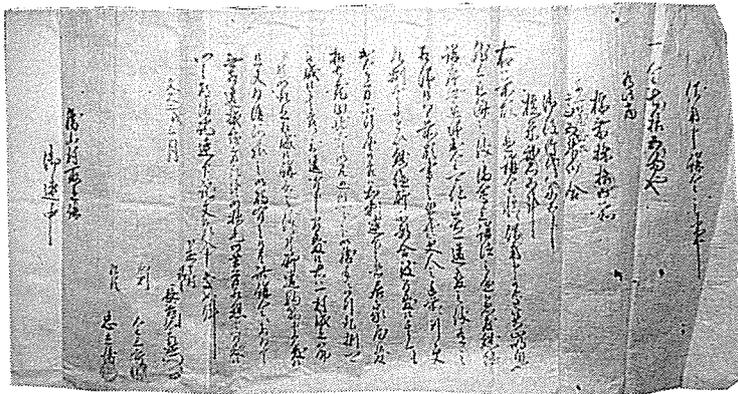


図版31 太田宿助郷約定書（文化12年）

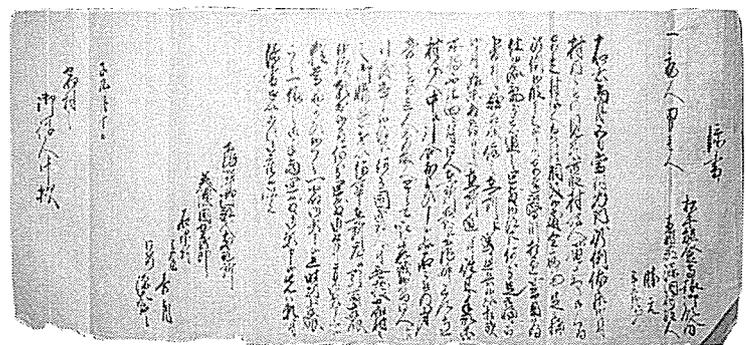
川辺町所蔵（西村家文書）  
本文786頁参照



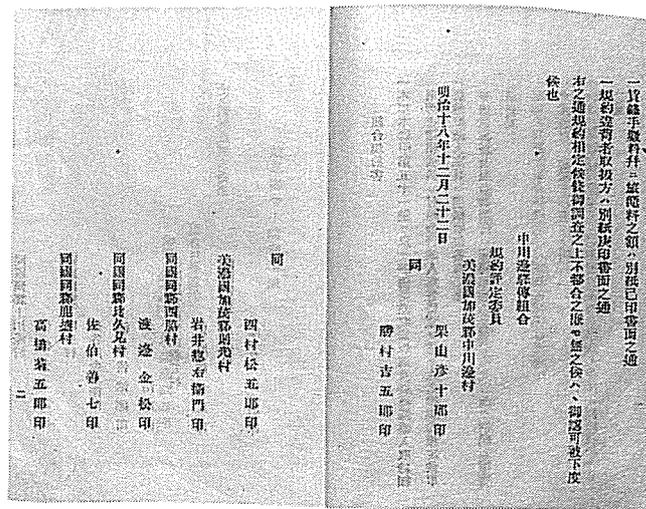
図版32 夫食請証文（嘉永5年）  
石神区所蔵  
本文823頁参照



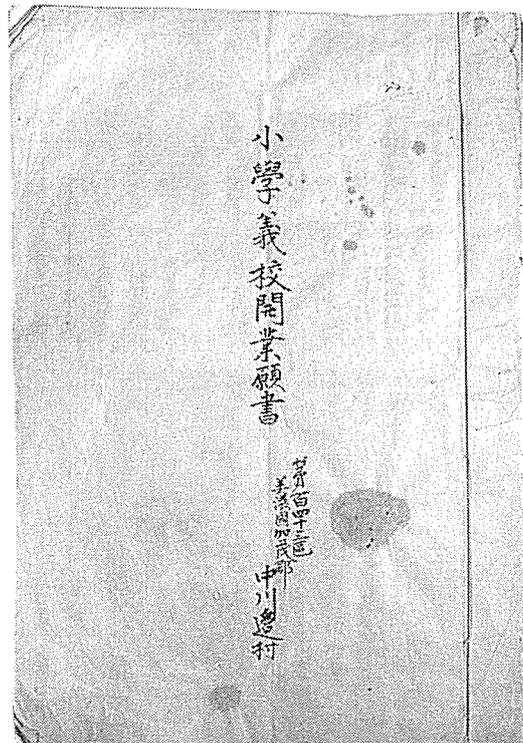
図版33 講金借用証文（文久2年）  
中川辺 木下尚年氏所蔵  
本文848頁参照



図版34 行倒人添書（年号不詳）  
石神区所蔵  
本文879頁参照



図版35 中川辺駅伝組合規約書（明治18年）  
川辺町所蔵（西村家文書）  
本文897頁参照



図版36 小学義校開業願書（明治6年）  
川辺町所蔵（西村家文書）  
本文921頁参照

# 序



古い歴史を持つ川辺町には、先人の残した貴重な歴史史料が数多く伝えられております。これら文化的遺産の価値を明らかにして、後世に伝えることは、私ども町民の責務であると考えます。

現在、町史編さん業務が鋭意進行しておりますが、先に史料編上巻を発刊し、引き続き本年度は史料編下巻の刊行を見るに至りましたことは、誠に喜びとするところであります。この史料編は近世史料が多数収録されておりますが、一点一点の史料の背景には、私どもの祖先がいかに暮らし、いかに生き抜いてきたかの生活態様が、漂っていることを感じさせるものがあります。村政に、治水に、交通に文化にと、厳しい自然条件と社会的変動を克服して、今日の川辺町の礎を築いたものであり、これらの人びとの努力と熱意に対し、改めて敬意を表すものであります。

近年、川辺町も近代都市への脱皮が進展し、一步一步着実に発展しつつあります。そのため、町内各地の開発も進められておりますが、その途上で郷土の歴史を理解し、愛着を持って接することも肝要な

ことと考えられます。文化の向上のために不可欠の事象であるといえます。

私どもは、ともすれば現実に目を奪われ、長い間培ってきた歴史を忘れがちになりますが、歴史の積み重ねがあつてこそ、躍動する川辺町の将来が展望されるのです。

今回の史料編発刊に続き、川辺町史の集大成ともいうべき、通史編の刊行も予定いたしておりますが、本書が、川辺町の発展を考えるよき指針となつて、町内外有識者のご愛読を賜り、末長く活用されることを望んでやみません。

この史料編発刊にさいし、貴重な史料を快く提供して下さつたかたがた、それぞれの立場からご指導、ご助言をいただきましたかたがた、編さん業務に献身的な努力をされた各委員の皆さんがたにつきましても、敬意と深い感謝の意を表するしだいです。

昭和六十三年十月

川辺町長

遠藤 稔

## 例言

- 一 川辺町史史料編は上下二巻の構成とし、本巻は文書の部として整理掲載した。
- 一 史料の採録は、町内に所蔵されているものを中心として、旧村々に関するものを収録した。
- 一 史料の区分は、寺社・支配・土地・貢租・戸口・村政・治水・産業・交通商業・社会等十一項目とした。
- 一 解説は前記区分ごとに総括的なものを付し、さらに史料ごとに必要に応じ要約を付記した。
- 一 史料は原則として原本の体裁にしたがったが、印刷の都合で形式を改めた箇所もある。
- 一 使用漢字は、中世史料はすべて旧漢字、近世史料は新漢字を主体とし、人名・地名はつとめて旧漢字、近代史料は新漢字を使用した。
- 一 近世以降の史料は、変体仮名は平仮名に、異体・略体の文字は普通漢字に改めた。なお片仮名は原文のままとした。
- 一 虫喰い、破損、その他欠字による判読不能の文字は□で示し、字数不明の場合は□□で表した。
- 一 冊子の表紙は表題を「」で囲み、右肩に（表紙）と傍注した。端裏書・朱書・下ケ札なども「」で囲み、右側に傍注した。

- 一 史料の文字が誤っていた場合は、右側に（ ）を付して訂正し、疑わしいがやや正しいと思われるものは、文字を訂正しないで（ママ）、その他は（カ）とした。
- 一 花押は（花押）、印判は㊦・㊧・印とした。
- 一 特殊な読み方の文字や語句は、（ ）の中にルビを付した。
- 一 本文には句読点および並列点を付したが、句読点はすべて「」に統一した。